

スキンケアの要点

抗がん剤の中には、皮膚の乾燥、かゆみ、黒ずみ、指先や爪の硬化、ひび割れなどの皮膚障害が起こりやすい薬があります。こういった皮膚障害は、生活に支障をきたすだけでなく、治療の中止や薬の減量が必要となって治療効果に影響を及ぼす場合があります。抗がん剤による皮膚障害の予防と症状の悪化を防ぐためには、日常のスキンケアが大事です。治療が決まったら、治療が始まる前からスキンケアを行いましょ。スキンケアの基本は、清潔を保つこと、しっかり保湿すること、皮膚への刺激を極力避けることの 3 つがポイントとなります。また、皮膚障害が出てきた場合は、この 3 つのポイントに加え、適切な軟膏類の使用やテーピング、場合によっては抗がん剤の一時的な中断や減量が必要となる場合があります。

以下に患者様のスキンケアにお役立ていただける資料を載せていますので、ご活用ください。

- 皮膚症状ケアブック

(http://www.merckserono.co.jp/cm/mckserono_jp_2011/ja/images/erbitux_crc_skin_symptoms_care_book_tcm2453_140946.pdf?Version)

出典：メルクセローノ株式会社 (<http://www.merckserono.co.jp/ja/index.html>)

- 手足症候群の予防と対処 (http://www.stivarga-info.jp/static/pdf/STI-14-0707_prevention-book.pdf)



出典：バイエル薬品株式会社 (<http://byl.bayer.co.jp/>)